# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

06-024046

(43) Date of publication of application: 01.02.1994

(51)Int.CI.

B41J 2/525

(21)Application number: 04-179561

(71)Applicant: CANON INC

(22)Date of filing:

07.07.1992

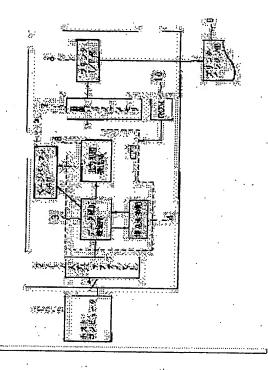
(72)Inventor: ISHIKAWA MAKIKO

#### (54) PRINTING DEVICE

#### (57) Abstract:

PURPOSE: To provide a printing device wherein various visual effects can be improved by various changes of luminance from colors made by a user and the luminance is changed as much as necessary dependent on type of outputting destination so as to make output result of image accurate.

CONSTITUTION: A data analyzing function section 3 of a CPU calculates luminance as a component at a part for processing data of color space. A luminance conversion section 4 changes a calculated luminance to a designated luminance as occasion demands and the changed luminance is converted into the color space data again. The result of the conversion is printed out.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

#### PRINTING DEVICE

Patent Number:

JP6024046

Publication date:

1994-02-01

Inventor(s):

ISHIKAWA MAKIKO

Applicant(s):

**CANON INC** 

Requested Patent:

☐ <u>JP6024046</u>

Application Number: JP19920179561 19920707

Priority Number(s):

IPC Classification:

B41J2/525

EC Classification:

Equivalents:

#### **Abstract**

PURPOSE:To provide a printing device wherein various visual effects can be improved by various changes of luminance from colors made by a user and the luminance is changed as much as necessary dependent on type of outputting destination so as to make output result of image accurate. CONSTITUTION:A data analyzing function section 3 of a CPU calculates luminance as a component at a part for processing data of color space. A luminance conversion section 4 changes a calculated luminance to a designated luminance as occasion demands and the changed luminance is converted into the color space data again. The result of the conversion is printed out.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

# (19)日本国特許庁(JP) (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

## 特開平6-24046

(43)公開日 平成6年(1994)2月1日

(51) Int.Cl.

識別記号

庁内整理番号 FΙ 技術表示箇所

B41J 2/525

7339-2C

B41J 3/00

В

審査請求 未請求 請求項の数2(全 5 頁)

(21)出顯番号

特願平4-179561

、(22)出顯日

平成4年(1992)7月7日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 石川 真紀子

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャ

ノン株式会社内

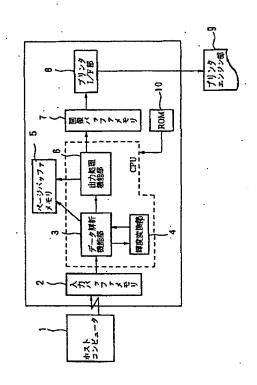
(74)代理人 弁理士 大塚 康徳 (外1名)

#### (54)【発明の名称】 印刷装置

#### (57) 【要約】

【目的】 ユーザの作成した色彩から様々な輝度変化で 多種の視覚効果を上げることを可能としたものであり、 出力先の種類により必要なだけ輝度変化させ、画像出力 結果をより正確にすることを目的とする。

【構成】 CPUのデータ解析機能部3は、色空間のデ ータを処理する部分の構成要素として輝度を計算する。 輝度変換部は、必要に応じて計算輝度を指定された輝度 に変更すると共に、変更した輝度から再び色空間データ に変換する。そして変換結果を印刷出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ある色空間の持つ印刷装置において、指定した範囲内の色の輝度を変化させた色処理を行うことを特徴とする印刷装置。

【請求項2】 請求項の範囲第1項記載の印刷装置において、

色空間のデータを処理する部分の構成要素として、輝度を計算する計算手段と、該計算手段の計算輝度を指定された輝度に変更する変更手段と、該変更手段が変更した輝度から再び色空間データに変換する変換手段とを備えることを特徴とする印刷装置。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はある色空間を持つ印刷装置に関し、例えば印刷装置の色処理に関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来、カラー印刷装置において色生成は 各色毎にユーザがコマンドで指定を行つていた。

[0003]

【発明が解決しようとしている課題】しかしながら従来例では全ての色に関して一色毎にコマンドで色指定を行っていた。また色彩によって生まれる視覚効果も一色として同様に指定していたためユーザの手間がかかり色付けが定型化しがちになり、出力後の結果も色彩が単調なものになっていた。また出力する紙質など出力先の種類によって輝度を調節する色処理の必要があったが従来は一定の色処理で行われていた。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明は上述の課題を解決することを目的としてなされたもので、上述の課題を解決する一手段として以下の構成を備える。即ち、ある色空間の持つ印刷装置において、指定した範囲内の色の輝度を変化させた色処理を行う。例えば、この色処理は、色空間のデータを処理する部分の構成要素として、輝度を計算する計算手段と、該計算手段の計算輝度を指定された輝度に変更する変更手段と、該変更手段が変更した輝度から再び色空間データに変換する変換手段とを備える。

[0005]

【作用】以上の構成において、ユーザが指定した範囲内の色を読むと同じに指定した分の輝度を変化させ、変化した輝度を取り込んで印刷装置が使用している色空間の形式に変換させて色処理を行うことにより、ユーザの作成した色彩から様々な輝度変化で多種の視覚効果を上げることを可能としたものであり、出力先の種類により必要なだけ輝度変化させ、画像出力結果をより正確にするものである。

[0006]

【実施例】以下、図面を参照して本発明に係る一実施例 50

を詳細の説明する。図1は本発明に係る一実施例を示すブロツク図である。図1において、ホストコンピユータ1は本実施例による印刷装置の外部に接続され少なくとも文字コード及びこの文字コードを編集または出力制御するための制御コードを含むデータ(印刷データ)を印刷装置へ出力する。入力パツフアメモリ2はホストコンピュータ1から送られる印刷データを一時的に蓄える回路である。

【0007】データ解析機能部3は入力バツフアメモリ2に蓄えられた印刷データを解析する回路である。輝度変換部4はRGBデータから所定の輝度を求め、変更してRGBデータに変換する機能を持つている。ページバツフアメモリ5は解析後の印刷データをページ単位で記憶する回路であり、出力処理機能部6はページバツフアメモリの情報を対応するドツトバターンに変更して画像バツフアメモリ7に展開して記憶させる。更にプリンタエノF部8は画像バツフアメモリのドツトバターン情報をプリンタエンジン部9に転送する。

【0008】以上説明したデータ解析機能部3、輝度変換部4、出力処理機能部6はCPU(演算装置)のソフトウエアにて処理することができる。CPUの演算処理に必要な処理手順(アルゴリズム)ならびにパラメータは、ROM部10に記憶しておく。以上の構成を備える本実施例の動作について以下説明する。

【0009】ホストコンピュータ1は作成した印刷データを入力バツファ2に送る。するとデータ解析機能部3はこの送られてきた印刷データを解析し、もし輝度変更の必要があるときはRGBデータを輝度変換部4へ送る。輝度変換部4は、送られてきたRGBデータから輝度を計算し、指定された輝度に変更する。その後、再びRGBデータに変換し、データ解析機能部3へ送る。データ解析機能部3は解析後の印刷データをページバツファメモリ5にページ単位で記憶する。

【0010】図2は図1に示す輝度変換部4の詳細構成を表わす図である。輝度変換部4は、データ解析機能部3から送られてくるRGBデータを、輝度を表わす値(Y)に変換する。求めたYの値をY値増減部22へ渡し、そこで指定した分の量だけYを増減する。変更したYの値をRGB変換部23へ送り、RGBデータに変換した後、データ解析機能部3へ送る。

【0011】図3はデータ解析部3が印刷データを受け取つてから輝度変更処理を終えるまでの一連の流れを示すフローチャートである。図3において、まずステツプS1で印刷データを受け取る。この受け取る印刷データには輝度変更指定と指定範囲が含まれており、続くステツプS2で受け取つた印刷データに輝度変更指定があるか否かを調べる。輝度変更指定がなければ輝度変更処理は行わず、ステツプS2でNOの枝を選択し、通常通りの動作を行う。

【0012】輝度変更指定があればステツプS3に進

み、RGBデータを輝度変換部4へ送る。輝度変換図4ではまずステツプS4で、輝度Yの値を求める計算を行う。続いて変更するY値を取り入れ、Y値の調整を行得。そしてステツプS5にて、Y指定位置が印刷装置の取り得る範囲か否かを調べる。ここで、Y指定値が印刷装置の取り得る範囲外の場合にはステツプS11に進み、Y指定値が予め定めた上限値を越えているか否かを調べる。ここで、上限値を越えている場合にはステップS12に進み、Yを最大値にセットし、ステツプS6に谁むと

【0013】ステツプS11でY指定値が上限を終えていない場合はステツプS13に進み、Y指定値として最小値をセツトしてステツプS6に進む。ステツプS6ではこの指定値にYを変更する。その後再びステツプS7にてRGBデータに変換してステツプS8に進み、ステツプS8で送られてきたデータ解析機能部3へデータを送り、輝度変換処理を終了する。そしてその後は次の処理へ進む。

【0014】図4に、本実施例においてデータ解析機能部3が受け取るデータの一例を示す。41には送る色デ 20 ータの輝度を変更するかしないかの判定フラグをたてる。42は印刷装置が持つ色空間のデータ、43にYの値が入つており、このYの値を変更装置が変更することになる。

#### [0015]

【他の実施例】上述の説明では色空間をRGBとしているが、YMCKなど印刷装置の持つ色空間でもよい。データ解析機能部3が受け取るデータの他の例を図5に示す。図5において、51はY値を変更するかしないかのフラグ、52は色空間のデータ、53は現在のY値から何%増減するかの相対値を持つデータからなる例である。

【0016】6において、61はここに入つている値に変更すべきYの値、あるいは現在のY値からの相対的な値が入つており、62は色空間のデータを持つデータで、61に何も入つていなければ変更なしと判断し、通常の動作を行う。尚、図5の場合、51に変更なしの情報が入つていればデータ解析部機能部3は52の色空間データまでを読み、通常動作を行う。

【0017】以上説明した各実施例によれば、ユーザが 指定した範囲内の色を読むと同じに指定した分の輝度を

変化させ、変化した輝度を取り込んで印刷装置が使用している色空間の形式に変換させて色処理を行うことにより、ユーザの作成した色彩から様々な輝度変化で多種の視覚効果を上げることが可能としなり、出力先の種類により必要なだけ輝度変化させ、画像出力結果をより正確にすることができる。また出力先の装置の種類、用紙の種類等によつて輝度変更指定を行えばより正確な出力結果を得られるなお、本発明は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの機器から成る装置に適用しても良い。

【0018】また、本発明はシステム或は装置にプログラムを供給することによつて達成される場合にも適用できることは言うまでもない。

#### [0019]

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、指定した範囲内の色の輝度を変更させる色処理を行うことにより、出力後の画像の立体感を持たせることが可能となり、ユーザの表現範囲を広げる効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る一実施例の構成を示すブロツク図 である。

【図2】図1の輝度変換部の詳細構成を示す図である。

【図3】本発明の一実施例を示すフローチャートであ ス

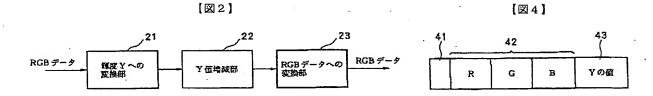
【図4】本実施例におけるデータの例を示す図である。

【図5】本発明に係る他の実施例のおけるデータの例を 示す図である。

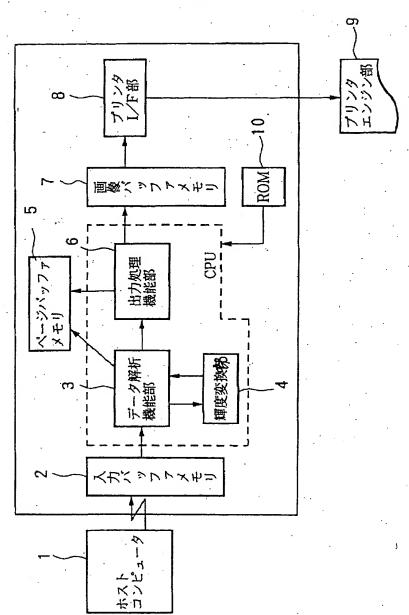
【図6】他の実施例におけるデータの例を示す図である。

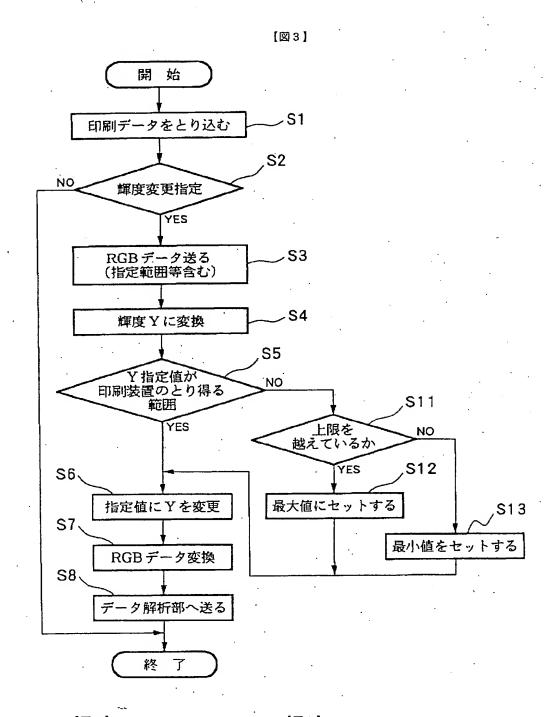
#### 0 【符号の説明】

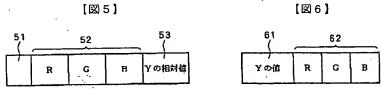
- 1 ホストコンピユータ
- 2 入力パツフアメモリ
- 3 データ解析機能部
- 4 輝度変換部
- 5 ページバツフアメモリ
- 6 出力処理機能部
- 7 画像パツフアメモリ
- 8 プリンタ I / F部
- 9 プリンタエンジン部
- 0 10 ROM



[図1]







# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

DOTHER: SMALL TEXT

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY